

「新人目線」の用語解説

語句読み

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。

amova
アモーヴァ・アセットマネジメント
アセットマネジメント(am)を
ムーブ(move)する

第255号



日興アセットマネジメントの新人。営業推進部門に配属され、投信や経済について勉強中。

今回のテーマ 債券投資において重要な情報となる「格付」

2025年5月、米大手格付会社が米国債の格付を引き下げ、話題となりました。今回は、債券投資を行なう上で重要となる、「格付」と「デフォルト(債務不履行)」について調べてみました。

1. 格付

「格付」とは、債券を発行する国や企業などの信用力(元本や利子の支払能力)をランク付けし、アルファベットなどの記号でわかりやすく示したものです。

一般に、信用力の高いものから順に「AAA(トリプルA)、AA(ダブルA)、A(シングルA)、BBB、BB...C」などとランク付けされます。この内、BBB格以上は「投資適格格付」と呼ばれ、信用力が高く、比較的安心して投資をすることができるとされています。一方、BB格以下は「投機的格付」と呼ばれ、相対的に信用力が低くなります。なお、格付の水準は債券の利回りと密接に関係しており、格付が高い(低い)ほど、利回りは低く(高く)なる傾向にあることから、債券への投資を行なう上で、重要な情報の一つとなっています。

国や企業の調査・分析を行ない、格付を決定しているのが「格付会社」です。格付会社は、対象となる主体(国や企業)の債務支払い能力などを総合的に評価し、格付に反映させています。2025年5月には、米大手格付会社が米国債の格付を最上位から1段階引き下げ、話題となりました。同社は今回の格下げについて、米国が抱え

ステップアップ

過去、サブプライムローン問題で格付の不透明性が指摘されたことを機に、主要国・地域では投資家保護を目的として格付会社に対する規制が導入されました。日本でも2009年に、格付会社の登録制などの各種規制が定められました。



(次のページへ続きます)

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

る巨額の財政赤字とそれに伴う利払い負担の増加が懸念されることなどを主な理由に挙げました。なお、既に複数の大手格付会社が米国債の格付を最上位から引き下げ済みだったことなどもあり、今回の格下げ発表は金融市場の大きな混乱にはつながりませんでした。

2. デフォルト(債務不履行)

「デフォルト(債務不履行)」とは、国の財政難や企業の経営破綻などを理由に、債券の利払いや償還などが約束通りに行なわれなくなることを言います。デフォルトに陥る可能性を探る尺度の一つとして格付が活用されており、格付が高い(低い)ほど、デフォルトの可能性は低い(高い)と判断されます。

一般的に、債券発行を通じた債務は株式などによる出資金よりも優先的に弁済されるため、デフォルトになっても元利金の弁済がゼロになるとは限りませんが、投資金額を大きく下回る弁済額となったり、弁済期間が当初の予定よりも長期化するなど、投資家にとって大きな影響が生じる可能性があります。

近年、国債でデフォルトが発生した主な事例として、2020年のアルゼンチン、2022年のスリランカ、ガーナなどが挙げられます。また、それ以前には、特定の国のデフォルトを巡る懸念の高まりから、大きな金融危機につながった事例もあります。具体的には、2009年秋にギリシャの巨額の債務隠しが発覚し、これをきっかけに欧州で高水準の債務を抱える国の国債などが売られたほか、世界の株式相場が大きく下落するなど、ギリシャ以外の国・地域にも影響が波及する事態となりました。こうした一連の混乱は欧州債務危機と呼ばれており、欧州発の世界的なリスクオフ・イベントの一つとして知られています。

国や企業がデフォルトに陥った場合や、その懸念が高まった場合などには、関連する金融商品の価格下落につながることも多いため、債券投資を行なうにあたっては、単に利回りの水準のみに着目するのではなく、こうしたデフォルトのリスクにも注意を払うことが肝要と考えられます。

債券に投資を行なう場合、利回りの水準だけでなく、格付やデフォルトのリスクも勘案する必要があります。個別債券への投資以外の選択肢として、投資信託を活用した分散投資を検討してみるのも一つの手ですね。

ステップアップ

金融市場では、国や企業のデフォルトリスクを対象にしたCDS(クレジット・デフォルト・スワップ)というデリバティブ商品が取引されており、発行体の信用力を測るための指標としても活用されています。

